広報 けせんぬま もとよし 広域

第57号

CONTENTS

●第８回リアス四季フォトコンテスト入賞作品 ……1
●広域消防　平成25年消防統計から ……3
●人事行政の運営等の状況について ……4
●リアス･アーク美術館からのお知らせ ……6
●平成26年度組合一般会計予算のあらまし ……8
●2014圏域イベントガイド ……8

最優秀賞

◆入賞作品はリアス・アーク美術館にて展示中ですので、ぜひご覧ください。（３月23日まで）
※作品の実物は全てカラーです。

「磯草漁」（本吉町大谷）
鎌　田　理　佳　さん（気仙沼市）

第8回

リアス四季フォトコンテスト 入賞作品決　定 !!

※「題名」（撮影地）
氏名（住所）の順

優 秀 賞

◆風景部門

「さくら尽くし」（気仙沼市笹が陣）
藤　村　和　也　さん（気仙沼市）

◆くらしなりわい部門

「航輝」（気仙沼湾）
菊　田　清　一　さん（気仙沼市）

■発行＝平成26年３月15日　■編集＝気仙沼・本吉地域広域行政事務組合（気仙沼市赤岩五駄鱈43番地2 Tel:0226-22-9111）

入選

※「題名」（撮影地）氏名（住所）の順

「祈大漁」（気仙沼市魚市場）
梶原　良さん（気仙沼市）

「奉納」（入谷地区）
佐々木　均さん（多賀城市）

「日の出」（サンオーレ袖浜）
遠藤　正弘さん（南三陸町）

「煌湾」（気仙沼湾）
伊藤　和臣さん（気仙沼市）

「伝統のシロウオ漁」（歌津地区）
藤島　純七さん（仙台市）

「大漁への願い」（コの字岸壁）
村上　久美子さん（気仙沼市）

「成長」（気仙沼市松崎地生）
菊田　健輔さん（気仙沼市）

「ナイスキャッチ？」
（気仙沼市赤岩羽田）
早坂　昭夫さん（石巻市）

「パン屋を継ぐ」
（志津川字廻館前）
北村　卓さん（仙台市）

「忘れないで」
（鹿折地区）
熊谷　清二さん
（気仙沼市）

賞候補

「笠地蔵合唱隊」
（気仙沼市赤岩迎前田）
藤村　和也さん（気仙沼市）

「獅子の素顔」（田中前通り）
鎌田　理佳さん（気仙沼市）

「入谷打囃子」（入谷地区）
藤島　純七さん（仙台市）

「飲むべえ」（復興屋台村）
北村　卓さん（仙台市）

「祭日」（南三陸町久須志神社）
足利　義信さん（一関市）

「風に吹かれて」（岩井崎）
足利　義信さん（一関市）

「跳ねる」（小泉川）
熊谷　清二さん（気仙沼市）

「復活の気仙沼港」（魚市場）
佐藤　和夫さん（仙台市）

「オクトパス君と一緒に」
（入谷地区）
藤島　純七さん（仙台市）

「漁火に浮かぶ大島と冬の星座」
（気仙沼市最知川原）
平田　智幸さん（気仙沼市）

「伝えたい圏域の今」をテーマに募集した当組合主催のフォトコンテストの入賞作品が決定しました。

審査は一月二十四日に仙台市在住のプロカメラマン斎藤秀一氏（斎藤秀一写真事務所）に審査委員長をお願いしました。

総評として、「リアスの風景、リアスの暮らし、『伝えたい圏域の今』を写された、皆さんの心を強く感じる優れた作品が多く、選考に大変苦労いたしました。」と話されました。

広域消防　平成25年消防統計から

平成25年の火災について

昨年の火災発生件数は32件で、前年の31件に比べ1件増加しました。

また、火災による死傷者は、死者が3人（前年4人）、負傷者が3人（前年2人）発生しており、損害額は2、122万円余りで、前年に比べて3、926万円ほど減少し、広域消防発足（昭和47年）以降で最少の損害額となりました。

なお、出火原因は、「放火・放火の疑い」が6件と最も多く、次いで「電気器具」が4件、「火入れ」が2件となっています。

火災の種別は、建物火災が13件（前年15件）で、次いでその他の火災が11件、車両火災が4件、林野火災、船舶火災が各2件となっています。

市町別・内容別火災発生状況

火災件数32件のうち、失火による火災が22件（全体の約69%）で、ほとんどの火災は不注意や不始末から発生しています。普段の心がけ次第で十分防ぐことができます。

平成25年の救急出動について

昨年の救急出動は、3、290件で、2、967人が搬送されました。これは、一日平均9回救急車が出動し、圏域住民の27人に1人が救急車を利用したことになります。これらを前年と比較すると、出場件数で189件、搬送人員で104人の増加となっています。

事故種別では急病が全体の約63%、年齢別では65歳以上の高齢者が約62%を占めています。

また、傷病程度別では入院加療が必要な中等症が約48%と最も多く、次に入院加療を必要としない軽症が約35%を占めています。

事故種別　救急活動状況

新規建築住宅の電子地図への登録について（お願い）

現在、119通報で災害現場を特定する際は、消防指令センターの電子地図を利用しています。

しかし、平成24年5月1日以降に完成した一般住宅は電子地図に記載されていないため、災害現場の特定に時間を要し、現場到着が遅くなる可能性があります。最寄りの消防署・出張所に備え付けの申込書の提出により電子地図に住宅を登録することが出来ますので、該当する方はご協力をお願いします。

【対象】

気仙沼市・南三陸町に平成24年5月1日以降に建築した住宅

【問い合わせ先】

消防本部　通信指令課

電　話　0226-22-6688

FAX　0226-22-0119

(3) 一般会計における特殊勤務手当

区　　分		全職種
支給実績（平成24年度決算）		1,826,800円
手当の種類（手当数）		５種類
支給職員１人あたりの平均支給年額(平成24年度決算)		14,161円
職員全体に占める手当支給職員の割合(平成24年度決算)		68.6％
内容	①救急業務手当　１回　100円	
	②機関勤務手当　１当務　100 ～ 80円	
	③火災・救助業務手当　１回　200円	
	④高速消防救急艇勤務手当　１当務　200円	
	⑤潜水業務手当　１回　500円	

(4) 一般会計における時間外勤務手当

平成24年度	支　給　総　額	41,721千円
	職員１人あたりの支給年額	234千円
平成25年度	支　給　総　額	32,901千円
	職員１人あたりの支給年額	191千円

(5) 一般会計におけるその他の手当（平成25年４月１日現在）

区分	内　　容
扶養手当	１．配偶者：月額 13,000円 ２．配偶者が無く、扶養親族がいる場合 １人目 11,000円　２人目 6,500円 ３．その他の扶養親族 １人につき 6,500円 ４．特定扶養（満16歳～22歳までの子） １人につき、5,000円加算 ○国の制度との異同：国と同じ
住居手当	１．借家・借間に居住している職員 27,000円を限度に家賃に応じて支給 ○国の制度との異同：国と同じ
通勤手当	１．交通機関などの利用者 55,000円を限度に運賃に応じて支給 ２．交通用具の利用者 使用距離に応じて2,700円～26,600円を支給 ○国の制度との異同 １については、国と同じ ２については、国は、2,000円～24,500円を支給

6．特別職の報酬等

（平成25年４月１日現在）

職　名		区分	報酬額	職　名		区分	報酬額
管理者		年額	69,000円	教育委員会	教育委員長	日額	6,800円
副管理者		年額	60,000円		教育長	年額	48,000円
					委員	日額	5,300円
議会	議長	年額	56,000円	情報公開・個人情報保護審査会委員	弁護士	日額	30,000円
	副議長	年額	48,000円		知識経験者	日額	6,800円
	議員	年額	46,000円				
監査委員	議会選出識見を有する者	日額	6,300円	地方公務員法第３条第３項第２号及び第３号に掲げる特別職の職員		日額	予算の範囲内で任命権者が定める額
		日額	6,800円				

7．職員の勤務条件、服務、研修等の状況

(1) 勤務時間(一般職の標準的なもの)

勤務時間	始業時刻	終業時刻	休憩時間
１日７時間45分	午前８時30分	午後５時15分	午後０時から午後１時

(2) 休暇の種類など

種　類	内　　容
年次有給休暇	年20日付与
病気休暇	90日以内の必要な期間
特別休暇（主なもの）	結　婚　休　暇：連続する７日以内 忌　引　休　暇：配偶者10日、血族の父母７日など 夏　季　休　暇：７月～９月までの期間において３日以内 産前・産後休暇：産前８週間以内の申し出た期間、産後８週間 育児時間休暇：１日１時間または１日２回、それぞれ30分
その他の休暇	介　護　休　暇：６ケ月の期間内

(3) 育児休業の状況(平成24年度)

区　分	男　性	女　性	計
取　得　者	０人	１人	１人

(4) 職員の分限及び懲戒の処分状況（平成24年度）

①分限処分

免　職	休　職	降　任	降　給	計
０人	０人	０人	０人	０人

②懲戒処分

免　職	停　職	減　給	戒　告	計
０人	０人	１人	１人	２人

(5) 職員の服務の状況

職員の服務規律は、次の条例などに規定し、公務員としての綱紀の保持のため、随時文書などで職員への周知徹底を図っています。

①職員の服務に関する規則

②職員の職務に専念する義務の特例に関する条例・規則

(6) 職員の研修と勤務成績の評定状況（平成24年度）

①職員研修の実施状況

区　　分	受講者数	研修名等　（　）は、人数
宮城県消防学校	23人	・初任総合教育(13)・救助科(1) ・警防科(2)・初級幹部科(2) ・上級幹部科(1)・特殊災害科(2) ・救急救命士再教育講習(2)
消防大学校	2人	・幹部科(1)・火災調査科(1)
救急救命東京研修所	2人	・救急救命士養成(2)
その他（宮城県主催等）	178人	・人事評価研修(157) ・メンタルヘルス研修(1) ・ライフプランセミナー(9) ・その他(11)
合　計	205人	

②勤務成績の評定の状況

地方公務員法第40条に基づき、勤務成績の良好な職員の昇給を実施しています。

8．職員の健康管理及び公務災害補償制度の状況（平成24年度）

(1) 健康診断の状況

区　分	受診者数（延べ数）	内容等　（　）は、人数
総合健康診断	179人	・人間ドック(13) ・脳ドック(6) ・各種がん健診(160)
定期健康診断	337人	・法定健康診断等 春季(163)　秋季(174)

(2) 公務災害の認定状況

加　入　団　体	認定件数
地方公務員災害補償基金宮城県支部	１件

9．公平委員会の状況（平成24年度）

県人事委員会より報告を受けた公平委員会の業務の状況

①勤務条件に関する措置要求　：該当なし

②不利益処分に関する不服申立：該当なし

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合 人事行政の運営等の状況について

平成25年12月

組合職員の任免、給与、勤務条件などの公平性及び透明性の確保のため、地方公務員法及び組合条例の定めにより、人事行政の運営等の状況について公表します。

1．職員の任免及び職員数に関する状況（特別職を除く）

（1）職員数の状況

区　分	H24.4.1現在職員数（うち再任用者数）	H24.4.2～H25.4.1 退職者数	再任用者数増減	新規採用者数	H25.4.1現在職員数（うち再任用者数）
一般職	12(0)人	0人	0人	0人	12(0)人
消防職	179(6)人	13人	0人	10人	176(6)人
合　計	191(6)人	13人	0人	10人	188(6)人

（2）部門別職員数の状況

区分 部門		職員数 平成25年度	平成24年度	対前年増減数	主な増減理由
一般行政部門	事務局	6人	6人		
	美術館	5人	5人		
	消　防	1人	1人		
消防部門	消　防	176人	179人	△3人	新規採用者10人、退職者13人
合　計		188人	191人	△3人	

※組合定数条例で職員の定数は211人となっている。

（3）年齢別職員構成の状況　（平成25年４月１日現在）

区分	20歳未満	20～23歳	24～27歳	28～31歳	32～35歳	36～39歳	40～43歳	44～47歳	48～51歳	52～55歳	56～59歳	60歳以上	計
職員数（人）	11	35	20	18	20	30	8	5	10	3	22	6	188
構成比（%）	5.9	18.6	10.6	9.6	10.6	16.0	4.3	2.7	5.3	1.6	11.7	3.2	100

2．人件費の状況（一般会計決算）

区　分	歳出額（A）千円	実質収支 千円	人件費（B）千円	人件費比率（B/A）	（参考）23年度の人件費比率
平成24年度	3,836,823	81,930	1,362,263	35.5%	64.6%

3．職員給与の状況

（1）職員給与費の状況（一般会計の当初予算）

区　分	職員数（A）	給与費 給料 千円	職員手当 千円	期末・勤勉手当 千円	計（B）千円	1人あたり給与費（B/A）千円
平成25年度	188人	597,253	162,793	212,131	972,177	5,171

※１．職員手当には、退職手当を含みません。
　２．特別職に支給される報酬は含みません。

（2）職員の平均給料月額、平均給与月額及び平均年齢の状況
（平成25年４月１日現在）

区　分	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
一般行政職	302,536円	349,872円	42.1歳
消防職	260,383円	321,986円	35.6歳
宮城県（一般行政職）	330,168円	408,615円	42.2歳
国（一般行政職）	307,220円	376,257円	43.1歳

※平均給与月額は、平均給料月額に扶養手当、通勤手当、住居手当などの手当を加えたものです。

（3）職員の初任給の状況　（平成25年４月１日現在）

区　分		初任給	区　分		初任給
一般行政職	大学卒	172,200円	宮城県（行政職）	大学卒	178,800円
	高校卒	140,100円		高校卒	144,500円
消防職	大学卒	197,200円	国（行政職）	大学卒	172,200円
	高校卒	158,100円		高校卒	140,100円

4．職員数等の状況

（1）一般行政職の級別職員数の状況（平成25年４月１日現在）

区分	１級	２級	３級	４級	５級	６級	７級	合計
標準的な職務内容	主事	主事	係長 主査 主任主事 主任学芸員	主幹兼係長	次長 主幹兼係長	副参事	事務局長	
職員数	0人	3人	4人	1人	2人	1人	1人	12人
構成比	0.0%	25.0%	33.3%	8.3%	16.7%	8.3%	8.3%	100%

（2）消防職の級別職員数の状況　（平成25年４月１日現在）

区分	１級	２級	３級	４級	５級	６級	７級	合計
標準的な職務内容	消防士	消防士長	主任消防士長 消防副士長	係長 消防士長	出張所長 課長補佐 当直司令 主幹兼係長	次長 署長 課長 副署長 分署長 指揮隊長	消防長	
職員数	62人	40人	20人	24人	18人	11人	1人	176人
構成比	35.2%	22.7%	11.4%	13.6%	10.2%	6.3%	0.6%	100%

5．職員手当の状況（平成24年度）

（1）期末手当・勤勉手当（支給割合）

区　分	手当の内容	区　分	６月期	12月期	年　計	増減（対前年度）
期末手当 勤勉手当	支給割合	期末手当	1.225月分	1.375月分	2.600月分	
		勤勉手当	0.675月分	0.675月分	1.350月分	
		計	1.900月分	2.050月分	3.950月分	
	職制上の段階、職務の級等による加算措置：有り					

（2）退職手当（支給率）

区　分	手当の内容	区　分	勤続20年	勤続25年	勤続35年	最高限度額
退職手当	支給率	自己都合	23.500月分	33.500月分	47.500月分	59.280月分
		勧奨・定年	30.550月分	41.340月分	59.280月分	59.280月分
	１ その他の加算措置：定年前早期退職特例措置（2～20%加算） ２ １人当たり平均支給額：24,697千円（24年度退職者の平均）					

リアス・アーク美術館からのお知らせ

お問い合わせは☎0226(24)1611

★リアス・アーク美術館が開館20周年を迎えます

リアス・アーク美術館が今年、開館20周年を迎えます。あらためてその活動を振り返りつつ、平成26年度の事業を紹介します。

リアス・アーク美術館外観

★リアス・アーク美術館の歩み

●リアス・アーク美術館の概要

リアス・アーク美術館は、気仙沼・本吉広域圏の「地域文化創造プロジェクト事業」の中核施設として、宮城県が施設の整備を行い、平成6年10月に開館しました。

開館10周年を迎えた平成16年には施設が県から無償譲渡され、現在は管理運営を気仙沼・本吉地域広域行政事務組合が行っています。

当館は、「圏域住民への質の高い芸術文化に触れる機会の提供」と、「住民の創作活動や発表の場の提供」を通じ、美術的な視点から個性豊かな圏域文化を創造しようとする生涯学習施設です。

リアス・アーク美術館はその名が示す通り美術館ですが、地域の歴史、民俗、生活文化を紹介する常設展示を持つことから変則的な美術館と言えます。

館の基本方針としては、東北・北海道の美術を中心に調査研究、展覧会を催し、それと同時に同エリアを中心とする地域文化、特に漁村文化と食文化を中心に歴史、民俗などを研究、蓄積、展示しています。また平成18年以降、津波の災害史、文化史などの調査研究、普及を図ってきた経緯があります。

「方舟日記」より解説パネル

現在の施設内容は以下3種類の常設展示を軸としています。

①圏域に内在する文化資源を「食」を軸として発掘し公開する「方舟日記」。

②当館所縁の東北・北海道在住作家を中心に紹介する「収蔵美術作品常設展示」。

③震災からの復旧、完全開館となった平成25年4月3日より新設、公開している「東日本大震災の記録と津波の災害史」常設展示。

これら3種類の常設展示に加え、館独自企画美術展、巡回展、圏域住民の創作活動の発表など、年間を通じ様々な内容の企画展を「圏域ギャラリー」で開催しています。

その他、住民の創作活動の支援を行う「ワークショップ」、そして芸術作品や、視聴覚映像作品を上映する「ハイビジョンギャラリー」など複合的な活動を行っています。

ワークショップ
夏休み工作教室より

●東日本大震災を経て

「明確な存在意義を示す美術館であり続けること」。平成6年の開館から、当館が常に意識してきたテーマです。

震災以前の活動では、地域文化を振興するため、歴史、民俗系の活動を強化し、様々な成果を残してきました。また美術分野においては、東北・北海道全体の芸術振興を図るために、シリーズ企画「N.E.blood21」を定着させ、若手作家の目標とされる企画展となりました。またこういった活動と並行し、地域住民の表現活動を支える「方舟祭」、「みんなの展覧会をつくろう展」などを毎年開催し、地域文化活動の拠点施設としての役割を担ってきました。

東日本大震災という歴史的出来事を経て、当館は新たな社会的役割を与えられました。「東日本大震災の記録と津波の災害史」常設展示にはオープンとともに、多くの地域住民が見学に訪れました。そして現在では全国からたくさんの観覧者が訪れており、昨年の9月20日には開館以来の入館者数が50万人となりました。

東日本大震災により、当地域は大きな被害を受けました。そういった社会的背景を強く意識するとともに、被災地の公立美術館が地域の為に果たすべき役割を再認識し、リアス・アーク美術館は開館20周年の節目を迎え、それを越えていきます。平成26年度の活動にご期待ください。

★平成26年度の催し物

●常設展示　（アークギャラリー）

当地域の歴史、民俗、生活文化を「食」をキーワードに紐解き、改めて見つめなおすことから、地域の未来を創造しようとする「方舟日記」。

美術館という文化施設を通し、地域との新たな関係を築き上げてきた美術家の作品を展示する「美術常設展示」。震災を経て、再編成されたこれら二つの常設展示を行っています。

※有料

●「東日本大震災の記録と津波の災害史」常設展示　（企画展示室）

この常設展示では震災発生直後から美術館学芸員が取材してきた、約3万点に及ぶ記録写真の一部と、同様に収集した被災物、そしてそれらに添える解説、さらに、三陸沿岸部を中心とする過去の津波災害について、明治三陸大津波、昭和三陸大津波を主とした資料を展示しています。

※有料

●「LAND SCAPE of N.E.　東北・北海道の風景」公募展

4月12日（土）～5月18日（日）
（圏域ギャラリー）

平成20年度から継続開催している公募展の第3回展を開催します。

この公募展は、東北・北海道の現在の日常風景を絵画作品として未来に残すことを目的としています。

2回展までは目の前にある風景のみを公募の対象としていましたが、第3回展からは、新たに「失われてしまった風景、記憶の中の風景」も公募の対象としました。油彩、アクリルによる風景画、約50点が展示されます。

※無料

●「N.E.blood 21　東北・北海道在住若手作家紹介シリーズ」

Vol.50～53　（圏域ギャラリー）

平成14年度から継続してきた東北・北海道在住の若手作家を紹介するシリーズ企画です。

※無料

Vol.50／佐藤励展（彫刻作品）
5月28日（水）～7月6日（日）

Vol.51／佐藤未希展（絵画作品）
Vol.52／木戸永二展（絵画作品）
7月16日（水）～8月24日（日）

Vol.53／横山信人展（立体作品）

●リアス・アーク美術館　開館20周年記念「震災と表現　BOX ART　共有するためのメタファー」展

9月17日（水）～11月3日（月）
（圏域ギャラリー）

本展は開館20周年を記念する展覧会であると同時に、震災から3年を振り返りつつ、被災社会における美術表現の役割を考える美術展です。

メインテーマとして「震災と表現」を掲げ、これをボックス・アートの手法で作品化する試みであり、副題として掲げているように「共有するためのメタファー」を表現する実験的な展覧会です。

「震災と表現」をテーマとしつつも、本展では震災写真や震災被災物などを直接見せるような手法は用いず、「メタファー＝隠喩」によって震災というものの多面性、多様性、多義性を美術表現するものです。

過去に当館と所縁のある作家、震災後に新たな関係が生まれた作家などに作品の制作、出品を依頼し、約40点を展示します。また会期中に「美術の社会的役割」をテーマとするシンポジウムの開催を予定しています。

※展覧会は有料

●「方舟祭2014」

12月3日（水）～12月27日（土）
（圏域ギャラリー他）

一般参加による美術館主催の文化祭。各種展覧会、歌、踊り、演奏などの発表を行います。7月初旬から募集を開始。（8月中旬締め切り）

※無料

●「みんなの展覧会をつくろう」展

平成27年2月11日（水）～3月15日（日）
（圏域ギャラリー）

開館以来継続開催してきた同公募展の第18回展を募集、開催します。（7月中旬より募集開始）　※無料

★共催展・貸館事業のご案内

○「けせもい」展／9月
○「市内小中図工美術」展／11月
○「小中書初め」展／平成27年1月

★ワークショップ「夏休み工作教室」

8月8日（金）～8月10日（日）

★観覧料

■企画展　展覧会ごとに設定。
■常設展　一般／300円（250円）
大学・専門学・高校生／200円（150円）
小・中学生／100円（50円）
（　）内は団体料金

★営業時間：9時30分～17時
（入館は16時30分まで）

★休館日／月・火曜日・祝日の翌日
年末年始、メンテナンス休館

※展覧会等の会期は都合により変更となる場合があります。利用の際は予め確認をお願いします。

★ご案内!!

「東日本大震災の記録と津波の災害史」常設展示の図録を4月から美術館で販売開始します。詳しくはリアス・アーク美術館までお問い合わせください。

平成26年度 組合一般会計

予算のあらまし

第187回組合議会定例会で『平成26年度一般会計予算』が原案のとおり承認され、一般会計の歳入・歳出予算総額は16億9,235万円となりました。

【歳入】

【単位：千円】

【歳出】

【単位：千円】

平成26年度の主な事業

- ○気仙沼消防署古町(旧南町)出張所　庁舎移転・新築災害復旧工事
- ○気仙沼消防署唐桑出張所　庁舎移転・新築災害復旧工事
- ○高規格救急自動車更新（古町出張所）
- ○救急救命士養成
- ○第18回「みんなの展覧会をつくろう」展
- ○リアス・アーク美術館 開館20周年記念展
- ○第９回リアス四季フォトコンテスト

平成26年度歳出予算

議会費
1,176千円(0.07%)
組合議会運営費

総務費
87,831千円(5.19%)
一般事務費、計画策定費、リアス・アーク美術館企画事業費等

消防費
1,464,891千円(86.56%)
防災・消防・救急活動費・施設管理費等

教育費
91,927千円(5.43%)
リアス・アーク美術館施設管理費等

公債費・予備費
46,525千円(2.75%)
組合債の返済金等

※(　)内は構成比

2014 圏域イベントガイド

※開催日や場所は変更になる場合があります。
詳細については気仙沼市役所・南三陸町役場にご確認ください。

3月

8日	3.11追悼打ち上げ花火	（南町紫市場）
9日	春つげわかめまつり	（伊里前）
10日	「はまらいんや気仙沼！2014フェスティバル」さだまさしコンサート	（気仙沼市民会館）
12日	仏教講座と南こうせつ被災地支援コンサート	（気仙沼市民会館）
16日	モ～ランド本吉 春のオープニングセレモニー	（モ～ランド本吉）
23日	元気!!ご当地グルメマーケット	（南町紫市場）
30日	志津川湾わかめまつり福興市	（ベイサイドアリーナ）

4月

20日	第31回河北新報気仙沼つばきマラソン	（気仙沼大島）
27日	志津川湾ホタテまつり福興市	（ベイサイドアリーナ）

5月

18日	伊里前しろうお祭り	（伊里前）
25日	第27回気仙沼天旗まつり	（商工岸壁）
25日	田束山つつじまつり福興市	（伊里前）
下旬	徳仙丈山つつじまつり（～６月上旬）	（徳仙丈山）

6月

29日	志津川湾タコまつり福興市	（ベイサイドアリーナ）